

令和7年度

本原小学校のグランドデザイン

<めざす子どもの姿>

☆地域を愛し、自分が好きで、人にやさしく思いやりのある子ども
☆粘り強く考えられる学習意欲の高い子ども
☆堂々と挨拶や考えを伝え、**挑戦し失敗から学べる**
たくましい子ども

《学校教育目標》

- ◎なかよく
- ◎たくましく
- ◎かんがえて

《地域・保護者の願う子ども像》

- ◎地域を愛する子ども
- ◎自分も相手もみんなも大事にする子ども
- ◎意欲的に学ぶ子ども
- ◎健康・安全に気をつける子ども
- ◎学校にいきいきと通う子ども

本年度の重点目標

1 つながる あいさつ

2 じぶんから うごく

3 **きいて** **かんがえ** **つたえる**

◎なかよく

- 明るい挨拶・返事の定着
- 人と「人・こと・もの」がつながる活動
- 個性を発揮し認め合う学級づくり
- 安心できる人間関係づくり
- 人権同和教育の推進
- やさしく話し、あたたかく聴く
- 歌声の響き合う学級・学年
- 子どもと向き合う時間の確保
「のびのびタイム」
- 交流活動の充実(児童会・異学年等)
- 地域(ふるさと)学習の実施
- 「原っ子応援団」との連携

◎たくましく

- 失敗をおそれず挑戦する雰囲気
- 自分で決められる選択肢を用意
- 係活動、児童会活動など周りのために役に立つ活動の継続
- 心を磨く清掃「もくもく清掃」「見つけ清掃」「感謝清掃」
- 運動集会・持久走での体づくりの推進
- 体力テストの実施と結果分析
- 外遊びの奨励・環境づくり
- 食育の推進、健康保持と増進
- 安心・安全の意識育成と徹底
(防災・防犯・交通安全)

◎かんがえて

- きいて:聞く・聴く・訊く(尋ねる)=対話
- 「聴き合う」「伝え合う」ことの日常化
- わかる授業から「対話し考える授業」へ
- 学ぶ楽しさ・学習意欲を喚起する授業づくり
- 主体的・対話的で深い学びの授業展開
- 授業のユニバーサルデザイン化
- 繰り返しの学習による基礎基本の定着
- すべての子どもの学びの充実授業と習熟度の配慮
- 一人一台端末(タブレット)の利活用
- 家庭学習の充実と習慣化
- MIM、図書館教育、小規模校の学びの充実

<全校研究テーマ> 「考える力・伝える力を伸ばし、学びの喜びを実感できる子ども」
～対話的に学び合うことを通して～

<学力向上のために>

- 「なぜ、どうして、やってみよう」と感じる学習問題
- 人・こと・ものとの対話により、深く考える学習展開
- きき、考え、伝え、安心して学び合える学級づくり
- タブレットの利活用
(ロイロノートの導入)
(授業や家庭学習での端末の活用の工夫)

< 学び合いによる授業改善に向けて > すべての子どもの学びの充実

- わくわくし、明日の授業につながる教材研究・研修の充実
- 問いに対し、ペアや4人組等での対話(聴く→問う)による学び合い
- 「考える、伝える」ことで思考を整理し、対話・協働を大切に位置付けた学習活動
- 学年内教科担任制、道徳授業交換等の推進

学校・家庭・地域でともに育てる本原小の子ども

< 学校 >

- 子どもの言葉や心の声に耳を傾け、子どもと対話を重ねる教師
- 互いに助け合い多様な教職員から学ぶ
- ホームページやtetoru、学校や学年通信等の情報発信
- 働き方改革、業務改善の推進と子どもと向き合う時間の確保

< 家庭 >

- 保護者との対話の充実(日常の連絡・相談、年2回の個別懇談、自宅確認と希望懇談、学級懇談、支援会議等)
- OPTAとの連携(作業、防災教室等)
- 学校評価の実施と報告
- 家庭学習・読書・メディアコントロール(情報教育)の推進

< 地域 >

- 登下校時の見守り(原っ子見守り隊)
- 地域の方による学習支援ボランティア
- 地域学習コーディネート、地域学習推進(生活科、総合、歴史、地学、社会見学等)
- コミュニティルームの双方向の連携
- 地域の方との交流(福祉、幼稚園等)
- 「ふるさと真田」のための協力・連携